

診療科研修コース申請書  
研修コース名【 消化器内科コース 】

**1. 診療科(専門領域)**

消化器科(胃腸科・胆膵)

**2. コースの概要**

初期臨床研修を終了した者を対象。

内科基礎プログラム、消化器科専門プログラム、 のすべてを選択。

(本人の意向を研修責任者が聴取し、本人との相談で決定する。)

**3. 取得資格**

国立病院機構による臨床認定医( )資格

日本内科学会認定医(初期臨床研修施設によっては受験可能)

日本消化器病学会専門医(受験資格まであと2年の認定施設での研修が必要)

**4. 長期目標**

- ・消化器病学の専門知識の習得。
- ・消化器疾患の診断を的確に行い、適正な治療法を選択し、遂行する。

**5. 取得手技**

- ・上部消化管内視鏡検査、全大腸内視鏡検査、上部消化管X線検査、注腸X線検査、胃ポリペクトミー・EMR、大腸ポリペクトミー・EMR、超音波内視鏡、ERCP。

**6. 研修期間**

3年

**7. 募集人数**

2名

**8. 診療科の実績と経験目標症例数**

症例数と手術件数の調査年度 <平成19年度>

主要疾患	入院数(年間)	経験目標症例数(3年間)
食道癌	5	3
胃癌	20	15
大腸癌	20	15
大腸ポリープ	70	20
潰瘍性大腸炎	3	2
クローン病	1	1
虚血性腸炎	10	10
膵癌	20	3
急性膵炎	5	3
慢性膵炎	5	3

手術	件数(年間)	経験目標件数(3年間)
上部消化管内視鏡	2000	1000

全大腸内視鏡	700	300
上部消化管X線	60	30
注腸X線	140	75
胃ポリペクトミー、EMR	10	2
大腸ポリペクトミー、EMR	70	20
上部消化管止血術（静脈瘤を除く）	20	10
内視鏡的胃瘻造設術	10	6
超音波内視鏡	30	10
ERCP	20	5

## 9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 3 名、非常勤 0 名  
 診療科研修の指導にあたる医師 2 名  
 主として研修指導にあたる医師の氏名 山縣 元  
 // 診療科経験年数 16 年

## 10. コンセプト

- ・専門領域とその関連領域の系統的な研修により、視野の広い臨床医を育む。
- ・消化管検査全般について十分な知識と技術を身につけるための、柔軟で明確な研修プログラムを用意する。

## 11. 一般目標

- ・医療安全、患者への人権の配慮ができる。
- ・関連領域を含む幅広い知識で患者の病態の全貌を把握する。
- ・消化器専門医として、質の高い消化管検査・診断・治療技術を身につける。
- ・関連診療科と十分な協議をして、的確な治療計画を立案する。
- ・他の職種との意志疎通を図り、チーム医療を実践する。
- ・医学の進歩に伴う生涯学習を実践する。

## 12. 関連領域の研修に関して

施設内での研修 場合によって可能  
 施設外との交流研修 場合によって可能  
 研修領域の決定

本人の意向を研修責任者が聴取し、本人との相談で決定

## 13. 共通領域研修について

内科カンファレンス（週1回）  
 消化器カンファレンス（月1回）  
 各種講演会（月1回以上）

診療科研修プログラム申請書  
 研修プログラム名【 内科基礎プログラム 】

**1. 診療科(専門領域)**

消化器科(胃腸科・胆膵)

**2. 研修期間**

1年

**3. 募集人数**

2名

**4. 短期目標**

- ・初期研修で不十分であった内科領域について研修を積み、内科全般の力をつける。
- ・将来希望する subspeciality に必要な基本的手技に習熟する。
- ・医療安全に対する配慮ができる。
- ・地方会で最低1回の発表を行なう。

**5. 短期取得手技**

- ・上部消化管内視鏡検査の習得。
- ・上部消化管X線検査の習得。
- ・注腸X線検査の習得。

**6. 診療科の実績と目標症例数**

症例数と手術件数の調査年度 <平成19年度>

主要疾患	入院数(年間)	目標症例数(1年間)
食道癌	5	1
胃癌	20	5
大腸癌	20	5
大腸ポリープ	70	3
潰瘍性大腸炎	3	1
クローン病	1	1
虚血性腸炎	10	3
膵癌	20	1
急性膵炎	5	1
慢性膵炎	5	1

手術	件数(年間)	目標件数(1年間)
上部消化管内視鏡	2000	300
全大腸内視鏡	700	50
上部消化管X線	60	10
注腸X線	140	25
胃ポリペクトミー、EMR	10	0
大腸ポリペクトミー、EMR	70	0
上部消化管止血術(静脈瘤を除く)	20	2

内視鏡的胃瘻造設術	10	2
超音波内視鏡	30	1
ERCP	20	1

#### 7. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 3 名、非常勤 0 名

診療科研修の指導にあたる医師 2 名

主として研修指導にあたる医師の氏名 山縣 元

” 診療科経験年数 16 年

#### 8. コンセプト

- ・上部消化管内視鏡検査、注腸X線検査を単独で行える力をつけます。

#### 9. 共通領域研修について

内科カンファレンス（週1回）

消化器カンファレンス（月1回）

各種講演会（月1回以上）

診療科研修プログラム申請書  
 研修プログラム名【 **消化器科専門プログラム** 】

**1. 診療科(専門領域)**

消化器科(胃腸科・胆膵)

**2. 研修期間**

1年

**3. 募集人数**

2名

**4. 短期目標**

- ・消化器疾患の鑑別診断と、検査および治療計画の立案。
- ・地方会で最低1回の発表を行なう。

**5. 短期取得手技**

- ・全大腸内視鏡検査の習得。

**6. 診療科の実績と目標症例数**

症例数と手術件数の調査年度 <平成19年度>

主要疾患	入院数(年間)	目標症例数(1年間)
食道癌	5	1
胃癌	20	5
大腸癌	20	5
大腸ポリープ	70	3
潰瘍性大腸炎	3	1
クローン病	1	1
虚血性腸炎	10	3
膵癌	20	1
急性膵炎	5	1
慢性膵炎	5	1

手術	件数(年間)	目標件数(1年間)
上部消化管内視鏡	2000	500
全大腸内視鏡	700	100
上部消化管X線	60	10
注腸X線	140	25
胃ポリペクトミー、EMR	10	0
大腸ポリペクトミー、EMR	70	2
上部消化管止血術(静脈瘤を除く)	20	5
内視鏡的胃瘻造設術	10	2
超音波内視鏡	30	1
ERCP	20	1

## 7. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤	3	名、非常勤	0	名
診療科研修の指導にあたる医師	2	名		
主として研修指導にあたる医師の氏名			山縣	元
”		診療科経験年数	16	年

## 8. コンセプト

- ・全大腸内視鏡を単独で行なえる力をつけます。

## 9. 共通領域研修について

内科カンファレンス（週1回）  
消化器カンファレンス（月1回）  
各種講演会（月1回以上）

診療科研修プログラム申請書  
 研修プログラム名【 消化器科専門プログラムⅡ 】

**1. 診療科(専門領域)**

消化器科(胃腸科・胆膵)

**2. 研修期間**

1年

**3. 募集人数**

2名

**4. 短期目標**

- ・消化器疾患の鑑別診断と、検査および治療計画の立案。
- ・内視鏡的治療の実施。
- ・地方会で最低1回の発表を行なう。

**5. 短期取得手技**

- ・内視鏡的治療(ポリペクトミー、EMRなど)

**6. 診療科の実績と目標症例数**

症例数と手術件数の調査年度 <平成19年度>

主要疾患	入院数(年間)	目標症例数(1年間)
食道癌	5	1
胃癌	20	5
大腸癌	20	5
大腸ポリープ	70	14
潰瘍性大腸炎	3	1
クローン病	1	1
虚血性腸炎	10	3
膵癌	20	1
急性膵炎	5	1
慢性膵炎	5	1

手術	件数(年間)	目標件数(1年間)
上部消化管内視鏡	2000	500
全大腸内視鏡	700	150
上部消化管X線	60	10
注腸X線	140	25
胃ポリペクトミー、EMR	10	2
大腸ポリペクトミー、EMR	70	18
上部消化管止血術(静脈瘤を除く)	20	5
内視鏡的胃瘻造設術	10	2
超音波内視鏡	30	1
ERCP	20	1

## 7. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤	3	名、非常勤	0	名
診療科研修の指導にあたる医師	2	名		
主として研修指導にあたる医師の氏名			山縣 元	
”		診療科経験年数	16	年

## 8. コンセプト

- ・内視鏡的治療を単独で行なえる力をつけます。

## 9. 共通領域研修について

内科カンファレンス（週1回）  
消化器カンファレンス（月1回）  
各種講演会（月1回以上）